

式 辞

三か年の螢雪の功を積み、今ここに卒業証書を授与された第七十四期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本来ならば、地域の方々をはじめとする、ご来賓の皆様方に、ご臨席を賜るところではございますが、皆さんもご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の影響により、ご遠慮いただいた次第でございます。

さて、卒業生の皆さん。ただ今一人ひとりに手渡した卒業証書は、中学校の全課程を修了した証です。今まで、家族の方々の温かい励ましや地域の皆様からのご支援、先生方のご指導により健やかに成長し、今日の日を迎えることができたことを忘れないでいてほしいと思います。

それでは、卒業式にあたり、私からは皆さんに「ファーストペンギン・スピリット」という言葉を贈りたいと思います。

「ファーストペンギン」というのは、群れの中で最初に冷たい海の中へと飛び込むペンギンを

指す言葉です。南極で暮らすペンギンたちが生きていくためには、海に潜って魚をもぐる必要があります。そのため、陸で育ったペンギンの子どもたちは、親ペンギンから海に入ることを教わります。

ところが、大きな波が打ち寄せる海の中には、シャチやトドなどの肉食獣が待ち構えているかもしれません。

そのため、ペンギンの子どもたちは怖くてなかなか海に入ることができません。

そんななか、勇気ある一羽のペンギンが「我に續け！」とばかりに勢いよく海に飛び込みます。

すると周りのペンギンの子どもたちも、後に続いて次々と海に飛び込み、餌にありつくことができるようになります。

このように勇気をもって、未知の世界や新たな場所へと、自ら率先して飛び込んでいくことを「ファーストペンギン・スピリット」と言います。

これまで過ごしてきた生活の中で、皆さん自身も「あの時もう少し勇気を出して、その一歩を踏み出せていれば」と後悔した経験があるのではな

いでしょうか。「このままで大丈夫」と、これまで通りの変わらぬ生活を繰り返していても、進歩など決してありません。

これから進みゆく人生で、様々な困難に出会ったとき、この「ファーストペンギン・スピリット」を思い出して、勇気ある一歩を踏み出すことができる人に成長してくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。これまで、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

この三年間、私たち教職員一同は、子どもたちの成長を第一に考え、時には優しく時には厳しく教育活動に取り組んで参りました。子どもたちの行く手には、思いもよらない出来事が待ち構えているかもしれません。しかし、子どもたちはこの住吉中学校で培った「生きる力」を原動力として乗り越えていってくれることと信じています。

今後も、引き続き、本校へのお力添えを賜りますようよろしくお願ひ申しあげます。

卒業生の皆さん、皆さんにお渡しした「卒業証書」は何かが終わったことの「証明書」ではなく、これから的人生への「許可証」です。その「許可証」を持って、何事にも挑戦し続ける人でいてください。

皆さんの前途に開ける輝かしい未来を祝して、私の式辞といたします。

令和三年(二〇二一年)三月十二日

大阪市立住吉中学校

校長 坂井 伸治